

## 2016 年度 京都大学 前期 英語

## I

出題範囲	長文読解
難易度	★★★☆☆
所要時間	30分
傾向と対策	前年から出題されていた説明問題が再び出題され今後も出題が予想される。和訳偏重の従来の出題形式からの転換であろうか。難しい単語がいくつかあるが最後まで読みとおせば大意をとることは可能であろう。特に後半部のコロンブスの話が筆者の主張を捉えるうえで重要であった。

## 本文訳

ニューメキシコ州にあるチマヨの乾いた赤い大地に、一部の人が神聖（ホーリー）と称する穴（ホール）がある。彼らはだじゃれを言おうとしたり、言葉遊びをしようとしていたりしているわけではない。その穴は真面目な問題なのだ。その穴にこだわりをもつ地元の人々は、頭や心臓にできた穴に対して冗談を言おうとしないのと同じように、その地上のちっぽけな穴に対して冗談を言おうなどと決して思わない。

その穴は長く多岐にわたる宗教的な歴史をもつが、現在はエル・サントゥアリオ・デ・チマヨというアメリカで最も多くの来訪者がやってくる宗教的な巡礼地の 1 つであるローマ・カトリック教会内の奥の隅に位置している。何十万もの敬虔な信者や好奇心旺盛な人が毎年訪れ、今は亡き愛する者の写真が散りばめられた小さな聖堂に列をなす。彼らは穴の周りの戸棚サイズの空間に集まり、ひざまずいて下の穴の冷気に手を差し込んで手一杯の土をかき上げる。チマヨを訪れる人たちはその土を食べることで奇跡を起こせると信じているのだ。

この風習を民俗信仰、つまりキリスト教の真の慣習とか正統の慣習ではなく、正式に認可されたミサで遺体を受け取る儀式が現地で退廃したものだとかよぶ人もいるだろう。実際にはもっと複雑なものだと示唆する人もいるかもしれない。つまり、紛れもないアメリカの宗教習合の形であり、非常に完成されているため両者を分けることのできない信仰の伝統の混合だというのだ。これらの解釈のいずれにも暗示されていることは、もっと明確な物理的事実である。①その教会は穴の周辺の建造物に関連した、そして同時にそれとは独立した歴史をもつ地面の穴の上に建てられたということである。この象徴的な話を広げると、アメリカの歴史における宗教について考えると我々は穴の上にある教会にばかりに焦点を当ててしまい、穴それ自体や、その土を自らの血や骨の一部に取り込もうとして列をなす人々を無視することがあまりに多かった。アメリカ合衆国は、一部ははっきり見えるが、一部は見えない国内の宗教的多様性によって形作られ、それに溢れた国である。しかし我々全員が教えられてきた歴史はほとんどの場合、このことを伝えることができていない。②我々は歴史を周辺からというよりもむしろ中心から学んできた。しかし我々の文化の大部分は、周辺から形成されてきたのだ。

歴史の始まりとみなされることの多い時点にさえ目を向ければ、これが正しいことがわかる。我々が学校で覚えた話はこうである。「1492年、コロンブスは大海原を航海した…」カトリック教徒のスペイン国王である、フェルナンドとイザベラの命令と負担で彼はそうしたと、我々は皆教えられてきた。コロンブスの船団の最大の船はキリストの救世主の母の名が与えられた。彼の航海誌は「われらが主、イエス・キリストの名において」という祈りの形で始まるのだが、そこにコロンブスは彼がすぐに征服することになる土地に持ち込まれた、十字架を掲げた旗について書いている。

この十字架というキリスト教の象徴を、彼ら自身のものとは考えていなかったコロンブスと航海を共にした男たちのことは、コロンブスほど知られていない。その後のアメリカと同じくらい、当時のヨーロッパは多宗教の歴史をめぐる終わりなき紛争を続ける土地であった。イベリアの文化の大部分を形成してきたため、ユダヤ教とイスラム教の信徒はスペインのカトリック教会に、彼らの世界は教会によってのみ作られたわけではないということを目に知らしめていた。この知らせが単なる恥辱であろうと、教会の存在を脅かすものでであろうと、彼らを排斥するには十分な理由であった。コロンブスは航海日誌の初めの言葉を、彼が出港したのと同じ年にそうした宗教的少数派を排斥したことでスペインを褒め称えることに割いているが、しかし彼の冒険は、故郷を追われるのを見て彼が喜んだ、まさにその諸民族の中から引き抜かれた男たちがいなければ達成されなかったであろう。彼の船員のうち何人かが、金持ちとなって終わるよりも海の藻屑に終わる確率の方が高い任務に参加したのは、まさに国外追放された宗教との彼らの関係によるものだったのだ。

### 解説

(1)

### 解答例

その教会は穴の周辺の建造物に関連した、そして同時にそれとは独立した歴史をもつ地面の穴の上に建てられたということである。この象徴的な話を広げると、アメリカの歴史における宗教について考えるときに我々は穴の上にある教会にばかり焦点を当ててしまい、穴それ自体や、その土を自らの血や骨の一部に取り込もうとして列をなす人々を無視することがあまりに多かった。

まずは下線部(1)までの文脈を確認する。チマヨのカトリックの教会にある小さな穴が、地域で信仰の対象になっている。そのことに対して、カトリックの正統な慣習でないとする人も、アメリカにおける信仰の融合だと示唆する人もいるが、いずれにせよはっきりしている事実があるという。それが下線部(1)で述べられる。

・ The church was built over a hole in the ground that has history both connected to and independent of the structure around it.

「その教会は周辺の建造物と関係し、そして同時にそれと独立した歴史をもつ地上の穴の上に建てられた。」  
the church とはもちろん El Santuario de Chimayo のことである。was built over A の over は「～の上に」という意味であり、全体としては「A の上に建てられる」と訳すことができる。both connected to and

independent of the structure around it は長いが構造はシンプルである。{ both [connected to] and [independent of] } the structure around it となり、connected to と independent of の両方が history にかかり、the structure around it が connected to と independent of にかかっている。名詞を and で結ぶのは見慣れているだろうが、後置修飾の過去分詞が and で結ばれているのはあまり見慣れなかったかもしれない。the structure は El Santuario de Chimayo のことである。structure = 構造と覚えている人もいるだろうが、ほかに「建造物」という意味があるので覚えておきたい。ここまでくれば around it の it が a hole in the ground のことなのはわかるだろう。

・ To extend the symbolic history: In thinking about religion in American history, we have too often focused only on the church standing above the hole and not on the hole itself, nor on the people lining up to make the soil within a part of their blood, their bones.

「この象徴的な話を広げると、アメリカの歴史における宗教について考えるときに我々は穴の上にある教会にばかり焦点を当ててしまい、穴それ自体や、その土を自らの血や骨の一部に取り込もうとして列をなす人々を無視することがあまりに多かった。」

To extend the symbolic story が何のことが初めはわからないかもしれないが、うしろを読むことでわかっていく。それは最後のコロンブスの話まで読んだときに、結局筆者が何を言わんとしていたのかが初めてわかるような構造になっているからだ。(2)の問題にもつながる話だが、筆者はアメリカがキリスト教中心的な歴史観に陥っている現状を批判し、キリスト教以外のものがアメリカの歴史文化の大部分を形成していることを指摘したのである。それはキリスト教徒の命令で、キリスト教徒のお金で、キリスト教を象徴する船で、キリスト教的価値観の下で行われたとされるコロンブスの新大陸発見が、実は異教徒の船員によって支えられていたということを書者が明確に指摘することからわかる。チマヨの話に戻ると、穴がその地域の信仰の大部分をかたち作っているのに多くの人は教会にばかり目を向けている。この事実がアメリカのキリスト教中心的な歴史観を象徴している。チマヨの話が the symbolic story 「この象徴的な話」と要約されるゆえんである。ここまでくればもう下線部の意味がわかるだろう。the church standing above the hole がキリスト教の象徴であり、the hole itself がキリスト教周辺の宗教を象徴している。the people はキリスト教以外の宗教を信仰する人々の象徴であろうか。下線部の最後の部分は、~ focused only on ~ and not on ~ nor on ~ という形で、全体が focus on A 「A に注目する」という表現を変形することによって作られていることに気づいたら、あとは簡単である。lining up は「列をなす」という動詞の現在分詞である。make the soil within a part of their blood, their bones は make の第 5 文型だが eating the dirt の言い換えであることに考えがおよべば訳はそこまで苦労しないはずである。

(2)

**解答例****“the middle”**

カトリック教徒のスペイン君主の命令と出費によって行われたコロンブスの新大陸発見は船の名前や航海日誌などにキリスト強敵価値観を色濃く反映していたこと。(74 字)

**“the margins”**

当時スペインから排斥されたユダヤ教やイスラム教などの異教徒であった船員の陰の尽力によって、コロンブスは新大陸の発見に成功したこと。(65 字)

前年から京大が出題している説明問題である。(1)の解説に書いてあるようにアメリカはキリスト教中心的な歴史観に陥っている。よって下線部(2)の the middle 「中央」は歴史的文化的中心たるキリスト教, the margins 「周辺」はキリスト教以外の文化のことだと大方の見当をつけることができる。「新大陸発見の事例を用いて」説明しなければならないので、それぞれがコロンブスの新大陸発見という歴史上の一場面でどのように現れているか考えなければならない。キリスト教以外のほうは考えやすい。コロンブスの船員たちである。who did not call this symbol their own 「このシンボル(十字架)を自分たちのものだと思わなかった」, men drawn from the very peoples he was so pleased to see driven from their homes 「故郷を追われるのを見て彼(コロンブス)が喜んだまさにその諸民族から引き抜かれた男たち」といった部分から彼らがイスラム教徒やユダヤ教徒などの異教徒だとわかる。彼らがいなければ航海は成功しなかっただろうと筆者が述べていることから航海の陰の立役者であるといえる。同時に、彼らの宗教がスペインから排斥されたこと(世界史選択者はこれがレコンキスタとよばれる一連の出来事であることを想起しよう)からも決して歴史の主役ではないこともわかる。「周辺」は歴史の中心として注目されることはないものの、歴史の大部分を支えてきた存在であるという筆者の主張がこの事例からくみ取ることができる。以上の内容を解答にまとめればよいだろう。一方、キリスト教を象徴する事物はいろいろある。スペインのカトリック君主たるフェルナンド・イザベラ、聖母の名を冠した船(サンタマリア号と言う)、コロンブス自身のキリスト教信仰と、その価値観にもとづく征服行為など、どれも教科書に載るような内容であり、いずれもキリスト教とかかわりをもっている。繰り返しになるがコロンブスの新大陸発見はキリスト教徒の命令で、キリスト教徒のお金で、キリスト教を象徴する船で、キリスト教的価値観のもとで行われたとされており、解答ではこの内容を具体化して記述すればよいだろう。ただ記述するにはすべてを書き上げることはできないので、2 つほど事例を挙げた上で「など」とぼかすとよい。

**表現**

**pun** 「だじゃれ, 言葉遊び」

**humble** 「粗末な, みすぼらしい, 取るに足りない」

**eclectic** 「多岐にわたる」

**pilgrimage site** 「巡礼地」

soul 「人」

strew A 「A の表面を一面に覆う」

legitimate 「正統な」

corruption 「退廃」

sacrament 「秘跡, サクラメント」: 神の見えない<sup>おんちよう</sup>恩寵を具体的に目に見える形で表すさまざまな儀式のこと

Communion 「聖体拝領」: ミサでキリストの体の実体としてパンを食べること

syncretism 「習合」: 異なる教義を折衷すること

structure 「建造物」

inform 「満たす」

point 「時点」

on order of A 「A の命令で」

standard 「旗」

practitioner 「実践家, 実務家」

Judaism 「ユダヤ教」

evict 「立ち退かせる」

faith 「(可算形で) 宗教, 教義」

(佐藤寛司, 日笠航希)

## 2016 年度 京都大学 前期 英語

## Ⅱ

出題範囲	長文読解
難易度	★★★★☆
所要時間	30分
傾向と対策	空欄に入れる選択肢の clear-cut, clear-sighted や ingrained, 和訳箇所の have something at one's disposal や enigma など難しい語彙が出題された。また下線部和訳問題では、違和感の少ない日本語に落とし込むのが難しい問題が印象的であった。修飾関係、主語と述語の関係が英文どおりになるよう心掛けながら、その範囲でできるだけわかりやすい日本語を意識しなくてはならない。これを試験でこなせるようになるには、それなりに難しい問題を用いてトライ＆エラーを繰り返す必要があるだろう。

## 本文訳

「記憶」という概念は私たちの言語や文化に深く根付いているため、それがどのようにはたらくのか、ということに関して一般的に受け入れられている知識やモデルがないと知ると少し衝撃を受ける。私たち自身から知識を引き出す方法は、いまだに細かい意味でほとんど知られておらず、大いに科学的な調査と議論の対象となっている。

記憶について広く受け入れられている概念は貯蔵のメタファーである。私たちは記憶が頭の中のデータベースや書類棚のような1つの場所で、そこで私たちの脳が体験を蓄え、必要なときに取り出すのだと考える。およそ20年ばかり前までは、認知科学でさえこれが正しいと考えていたが、以来記憶はもっと複雑なものであると認めようになった。

それでも、これはひどく誤解を招くのだが、貯蔵のメタファーというのは記憶に関しての、私たちが慣習的に語るときの考え方だ。(a)もしも私たちの脳が戸棚の中にスプーンの缶をしまうようにすべてを文字通り収納してしまえるなら、私たちは実際よりも記憶することが得意であるはずだ。記憶は信頼に値せず、一部の事柄は保持し、またほかの事柄は保持しないようで、そこには多くの場合で明確な理由がない。2005年のある研究において、イギリスの人々が、盛んに報道されたバス爆破のテレビ映像を見たことがあるかと聞かれた。84パーセントの被験者が見たことがあると答え、その中の数人は質問に答える際に詳細を入念に説明した。そのような報道はなかったというのに、である。より最近の研究は、「写真記憶」をもっていると私たちが一般に考えている人たちでさえも、普通の記憶をもつ人たちと同じくらい信用ならないということを示した。

(b)もちろん私たちは、私たちの環境や過去の経験に関する情報を神経系が保持できるようにする神経化学作用を用いて、過去の何らかの情報を思い出せるのだということはわかっている。しかしながら、現代科学が用いることのできるすべてをもってしても、人間の記憶は呆然とするほど謎のままなのだ。

問いは次のようになる。記憶の仕組みの設計を適切にするために記憶がどのようにはたらくのかということに関して、私たちは何を知るべきなのか？伝統的な認知科学からは、記憶のはたらき方について沢山の異なるモデルがあるが、その多くは似たテーマにもとづいて姿を変えたものだ。これらのモデルは、研究者が実験の被験者の行動の中に見るパターンや、彼らの脳の中のエネルギーや血液の流れを観察してわかる僅かなことにもとづいて、何年にもわたって作り上げられてきた。このようなモデルによって、脳にはっきりした領域があってそれぞれのはたらきをこなすのだと、私たちは勘違いすることがある。実際にはそんなに単純明快ではない。

### 解説

(1) 正解は ア④ イ⑦ ウ⑧ エ⑥ オ①

空欄に適切な単語を埋め込む問題。超高校レベルの単語が出題された。ingrained は「深くしみ込んだ」などの意味があり、clear-cut は「明快な」という意味。

アのあとでは「そのため記憶のはたらきに関して知識やモデルが確立されていないことがショックだ」という内容が続いている。「記憶」が言語や文化において重要な地位を占めており、また非常になじみの深いものであるからこそ、universally accepted な知識やモデルがないということに驚くのだ。したがって、アには「根付いている」が入る。

イの The way we retrieve knowledge from ourselves というのは少しわかりにくいかもしれない。自分から知識を回収する方法」とはすなわち「記憶」のことである。空欄イの前後では「記憶に関してあまりわかっていることがない」という文脈になっているので、イには「知られていない」を意味する unknown を入れるべきである。

ウが置かれた段落では、記憶の不安定さや当てにならない様が述べられている。その文脈で「写真記憶」が出てきたのだから、そこで述べたいことは「そのような人でさえ記憶は信用ならない」ということ。ここでは「信用ならない」を意味する unreliable を入れると文意に合う。

エの空欄の前には「記憶の仕組みにはたくさんの異なるモデルがある。」と書いてある。空欄のうしろでは、「これらのモデルは、研究者が実験の被験者の行動の中に見るパターンや、彼らの脳の中のエネルギーや血液の流れを観察してわかる僅かなことにもとづいて、何年にもわたって作り上げられてきた。」と多様なモデルの共通点を述べている。異なるモデルだが似ているということが推測できるため、エに「似た」を意味する similar を入れれば、「その多くは似たテーマについての多様なモデルだ」となり、前後の文脈とうまくつながる。「同じ」を意味する same を入れても文意はとおりにそうだが、この場合は空欄の前に the がついていないことから、similar のほうを選択すべきである。

オの前の部分では、従来の科学の影響で「誤解」を招いたと述べられている。「脳に機能別の領域があると考えられているが、実際にはそんなに（オ）ではない」というのが空欄オまでの趣旨だ。「記憶に対する理解は確立されていない」という本文の趣旨を踏まえると、「脳に異なる領域があってそれぞれのはたらきをする」という考え方は、「戸棚の中にスープをしまう」という記憶の例のように単純すぎる発想ではないか。そしてそれは mislead us into thinking there are distinct areas of brain~より mislead された考え方だと表現されている。以上を踏まえると、オには「単純だ」を意味する clear-cut を入れるのが適切である。

(2)

**解答例**

もしも私たちの脳が戸棚の中にスープの缶をしまうようにすべてを文字通り収納してしまえるなら、私たちは実際よりも記憶することが得意であるはずだ。記憶は信頼に値せず、一部の事柄は保持し、またほかの事柄は保持しないようで、そこには多くの場合で明確な理由がない。

下線部 a の前後の文脈を確認しよう。下線部の前の段落では「記憶に関して、貯蔵のメタファーのような考えが広まっているが、実際にはもっと複雑である」ということが述べられている。さらに下線部を含む段落も、「貯蔵のメタファー」が「ひどく誤解を招くものだ」と言及している。さらに下線部のうしろでは、ある実験を紹介しながら人の記憶の脆弱さについて述べている（詳しくは訳を参照）。

以上を踏まえながら文構造を見ていこう。解釈しやすくするために下線部を x~z で区切った。

x) If our brains literally stored everything away like cans of soup in a cupboard, y) we should be much better at remembering than we actually are. z) Memory is untrustworthy and seems to hang onto only certain things and not others, often with little apparent reason.

x) store away, like cans of soup in a cupboard の箇所を適切に訳せるかが肝となる。前者は「しまう」、後者は「戸棚の中のスープの缶のように」であるので、x は「もし脳が戸棚の中のスープの缶のようにすべてを文字通りしまってしまうなら」と訳す。この文脈において、「しまう」ということは「覚える」ことの比喩であり、「戸棚にスープの缶をしまうように」覚える、ということをお願いなのである。そのため「文字通り」という言い回しが用いられている。なお、like のあとに storing が省略されていると考えるとよい。また仮定法が用いられていることに注意しよう。

y) x)の部分で仮定法が用いられていることから、ここの should は「べき」と訳すべきではなく、「~に違いない、~であったはず」などと訳するのが正解となる。また、be good at が比較級の形で用いられており、than we actually are と「貯蔵のメタファーどおりだった場合の記憶力」が「実際の私たち」と比較されている。are 以下は省略されている。

z) hang onto A は「A にしがみつく」のような意味であるが、しっかり握るイメージから「保持する」といった訳にするのが妥当であろう。and not others の訳も悩みどころかもしれない。ここは and do not hang onto others と解釈して「あるものは保持しない」などと訳するのがよい。

以上をまとめたものが解答例である。

(3)

**解答例**

もちろん私たちは、私たちの環境や過去の経験に関する情報を神経系が保持できるようにする神経化学作用を用いて、過去の何らかの情報を思い出せるのだということはわかっている。しかしながら、現代科学が用いることのできるすべてをもってしても、人間の記憶は呆然とするほど謎のままなのだ。

直前の部分にあたる前の段落の後半では、実際には存在しない事件について質問することで人間の記憶の不安定さを示し、それは一般に記憶力がよいと考えられている人たちにも当てはまると述べている。

以上の点を踏まえつつ、文構造を見ていく。理解しやすくなることを狙い、o～q に分け、適宜スラッシュを入れた。

o) Of course, we know that we can recall some sort of information from our past, p) using neurochemical activity / that makes it possible for our nervous systems / to retain a kind of information about our environment and past experience. q) However, in spite of all that modern science has at its disposal, / human memory remains a stunning enigma.

o) ここが 1 文目の主節にあたり、we know とその目的語の that 節で成り立っている。なお、we know をそのまま「私たちは知っている」と訳すと不自然な訳になるので、ここは「～がわかっている」くらいに訳しておくことを勧める。

p) ここは o の主節を修飾する、分詞を用いた副詞節にあたる。1 つ目のスラッシュ～2 つ目のスラッシュの間の部分 (that makes～) は neurochemical activity を先行詞にとる関係詞節である。さらに、2 つ目のスラッシュ以降 (to retain～) は it の指示内容を表しており、意味上の主語は our nervous systems となっている。

q) in spite of all～という副詞のかたまりである。all の内容を that 節で説明している。have A at one's disposal は「A を自由に使うことができる」という意味だ。この A の部分がここでの all にあたり、先行詞として that 節から欠けている。直訳で「しかしながら、現代科学がもつすべてをもってしても」と訳することができる。

**表現**

retrieve 「取り戻す」

hang onto 「つかむ」

at its disposal 「手中にある, 思いどおりにできる」

stunning 「すばらしい, 驚くべき」

enigma 「謎, なぞなぞ」

distinct 「はっきりと異なる, 区別できる」

(中島匠, 山藤孝介)

## 2016 年度 京都大学 前期 英語

## Ⅲ

出題範囲	和文英訳
難易度	★★★☆☆
所要時間	15分
傾向と対策	例年どおり，短めの文章を英訳する問題であった。基本的な文法の知識があれば大方は訳せただろう。ただ「生地が膨らむ」といったあまり学習の及ばない表現もあり，完全解答は難しかったかもしれない。

## 解答例

We can eat bread easily, but when it comes to making it, it takes much pain to finish. Above all, we have to wait until the dough rises enough. Even if we use home appliances whose advantage is to be able to bake bread easily, it takes at least four or five hours to get through the whole process. Not until we try making it by ourselves, can we realize how thankful we should be for the bread sold at stores.

## 解説

・「パンは手軽に食べることでできる食品であるが」

(例1) we can eat bread [easily / whenever and wherever we want to]

(例2) bread is a food we can eat easily

「手軽に」は easily と訳すのが最も簡潔だが、「いつでもどこでも」と言い換えると whenever and wherever を使うこともできる。「食品である」を忠実に訳せば a food~となるが、「食品である」の訳を省略しても問題ない。(なお food は通常不可算名詞だが，いくつかある中の食べ物の種類のうちの1つ，あるいは複数という意味で使うときは可算名詞となる。)

・「実際に作ってみるとなると，できあがるまでに大変な手間がかかる」

(例1) when it comes to [making / baking] it, it takes much [pain / time and effort] to[ finish / have done with / complete]

(例2) when we actually bake it, [we will find it very painstaking to finish / we have to make so much effort until the completion]

「実際に作ってみるとなると」という形には when it comes to~がそのまま使える。「できあがる」は finish, have done with, complete などが使えるが、「手間」の訳語に苦勞した人もいるかもしれない。「手間がかかる」=「苦勞する」と取れば it takes much pain, 「時間と労力がかかる」と読めば it takes time and effort のよう

に表現できる。この場合 finish などの目的語 it を書いたら減点になるので注意しよう。訳しづらい言葉は訳しやすい日本語に置き換えることである。

・「特に、生地がしっかり膨らむまで待たなくてはならない」

[Above all / For example / For instance], we have to wait until the dough rises [enough / fully]

「特に」は above all を用いればよいが、前述の文の具体例と考えて for example と書くのも許容範囲だろう。「生地が膨らむ」というのは the dough rises という決まった言い方がある。こういう日常的な表現ほど英語に訳せないことがあり、困った受験生も多かったかもしれない。「生地」1 つに何分も悩まされるよりは潔く諦めてそれらしい名詞を書いておけばよい。その代わりにほかの部分をしっかり訳すようにしよう。

・「簡単にパンを焼けることが売りの家電製品を使ってみても」

Even if we [use / try using] home appliances whose advantage is to be able to bake bread easily,

「家電製品」は home appliance である。長文読解で出てくることもあるので、ぜひ覚えておいてほしい。この部分における最大の難所は「売り」である。sell という単語がとっさに思いつく人もいるかもしれないが、動詞の sell には「～を売り込む」という意味がある。この動詞を変化させて英訳を作ることも可能かもしれないが、selling point 「セールスポイント」を使うのが無難だろう。selling point が思い浮かばなかった場合にも advantage, good point, merit などを使えばよいだろう。なお、「セールスポイント」をそのまま sales point としてはいけない。これは和製英語であり、本来英語にはない表現なので書いてはいけない。

・「全工程に 4,5 時間は必要である」

(例 1) it takes at least four or five hours to [get through the whole process / finish all the process]

(例 2) the whole process takes four or five hours

「必要である」は英作文ではお馴染みの it takes O to do を使えばよい。「全工程」は the whole process とするとよい。process には加工処理の意味もあり、製パンの意味を正しくとらえている。the whole process takes ~のように the whole process 自体を主語にしてしまってもよい。「4,5 時間は」の「は」は at least で雰囲気を出すようにしたい。

・「自分で経験してみても初めて」

Not until we [try making it / experience baking it] by ourselves

特に訳しづらい単語はないが、「経験してみる」の部分では experience を用いずに try doing 「試しに～してみる」を使ってもよい。なお、try to do 「～しようと努力する」とは違うことに注意してほしい。「～して初めて～」は Not until ~, ~. や It is not until ~ that~. の構文が便利である。ただし、Not until を用いる場合は否定の倒置表現となり、主節の動詞、または助動詞を最初にもってこななければならないことに注意しよう。

・「店頭で売っているパンのありがたみがわかるようになるものだ」

we can [appreciate the bread sold at stores / realize how {thankful /grateful} we should be for the bread sold at stores].

「店頭で売っている」は sold at stores でよい。stores のほかに、「パン屋」を表す表現として、bread shops や bakeries を用いても差し支えないだろう。問題は「ありがたみが分かる」の部分である。「ありがたみ」というのは、普段何気なく口にしているパンが実は大変な手間がかけられて作られており、そのことに気づくことで、パンとそれかけられた労力に対する感謝の念が生まれるということである。そのため thankful / grateful を使うのが適当であろう。appreciate「正当に評価する」を用いるとさらに簡明である。解答例では Not until を用いたため、倒置になっている。

(佐藤寛司, 大西功泰)

## 2016 年度 京都大学 前期 英語

## Ⅳ

出題範囲	自由英作文
難易度	★★★☆☆
所要時間	15分
傾向と対策	「積ん読」という日本語についての自由英作文であったため、多くの人にとって状況は掴みやすかったはずだ。しかし、この言葉を初めて目にした人は、言葉の雰囲気や文脈からその意味を判断することになるので若干戸惑ったかもしれない。日本語を英語で説明するのは意外と骨が折れるため(1)で苦労した受験生もいただろう。(2)は意見文を書くという頻出形式なので素早く書き上げたいところだ。日頃から「積ん読」のような日本独特な表現、時事などに対する説明・意見をシンプルに英語で言うとうどうなるかなど、考える癖をつけよう。表現に困ったらその都度辞書を引くことで説明や意見陳述に便利な表現を身につけることができる。スマートフォンを使えば web 辞書や辞書アプリでふとした瞬間に辞書を引くことができ、便利だろう。

## 本文訳

ドリー：あなたはこんなにたくさん本を持っているのね。さぞかし熱心な読書家に違いないわ。

ケン：ええと、実はこれ読んだことはないんだよ。部屋に積んであってほこりを被ってるだけ。いわゆる「積ん読」だね。

ドリー：本当に？ 「積ん読」なんて言葉は初耳だわ。もっと教えてくれる？

ケン：(1)

ドリー：なるほどね。「積ん読」についてどう思ってるの？

ケン：(2)

## 解答例

(1)

(例 1) If you find a book and want to get it at a store, you will buy it. However, you sometimes don't have enough time to read it, ending up in just putting it aside. When you do the same thing again and again, many books pile up. This situation is called *tsundoku*.

訳：店で本を見つけて欲しくなったら、買うだろう。でも、ときには読む時間が足りずに脇に置いておくだけになってしまう。同じことを何度も続けるとたくさん本が積まれていく。この状況を「積ん読」と言うんだよ。

(例 2) *Tsundoku* is a kind of pun consisting of "tsundoku" and "doku". The former means piling up and

the latter means reading, so *tsundoku* means many books you haven't read yet are piling up. This room is a good example.

訳：「積ん読」は「積んどく」と「読」から成るだじゃれみたいなものだよ。前者が積み上げるという意味で、後者が読むという意味だから、「積ん読」はまだ読んでいない多くの本が積み上がっていることを意味する。この部屋がいい例だね。

(2)

(例 1) I think that *tsundoku* is the situation you should avoid. There is no meaning in just putting books aside. You have to read them to get knowledge from them and appreciate them. I also want to read the books piling up in my room as soon as possible.

訳：「積ん読」は避けるべき状況だと思うね。ただ本を置いておくだけでは意味がないし。本から知識を得たり、本を正しく評価するためにはそれを読まなきゃならない。僕もできるだけ早く部屋に積まれてる本を読みたいと思ってるよ。

(例 2) I think *tsundoku* is a good thing. If you don't buy a book, you will lose the opportunity to read it forever. In contrast, by putting books in the room, you can read them in free time. That's why I pile up so many books.

訳：「積ん読」はよいことだと思うんだ。もし本を買わなければその本を読む機会は永遠に失われてしまうだろう。逆に本を部屋に置いておけば暇なときに読める。そういうわけでこんなに沢山の本を部屋に積み重ねているんだ。

### 解説

(1)はドリーが「もっと教えてくれる？」と尋ねていることから積ん読についての詳しい説明を書けばよい。

(2)では「どう思っているの？」とドリーが聞いているので、積ん読についての自分の意見を書けばよい。

(1)

自由英作文の場合は、書く前にある程度構想を練る必要がある。まずケンが積ん読をしていることを押さえたうえでケンの立場に立って「積ん読」を説明しなければならない。1つ目の解答例のようにどういう状況を「積ん読」と言うのか詳しく説明したり、2つ目の解答例のように「積ん読」という言葉のだじゃれの要素を英語で説明してみるのもよいだろう。「積ん読」というのは「積んどく」に読書の「読(どく)」をかけたもので、本を買ったまま読まない状態が続き、しまいには何冊もたまってしまう現象のことをいうが、自分なりに言葉を考えて説明しなければならないため少し大変だったかもしれない。「積む」という日本語を訳するのが少し難しかったかもしれないが set / put A aside 「A を脇に置いておく」を使うと、うまく表現できるはずだ。

(2)

「積ん読」についての意見はいろいろな書き方がある。1 つ目の解答例のように本は読むことに価値があるのであってただ置いておくのではまったく意味がないという否定意見でもいいし、2 つ目の解答例のように読んでもおきたい本を忘れないようにとりあえず置いておくのであれば問題はないというように肯定意見を書いてもいい。否定意見の根拠として、お金がかかること、スペースがとられて邪魔なことなどを挙げてもいいだろう。肯定意見としては、買わなければその本を読む機会は失われてしまうので少しでもいいと思ったら買うべきだとか、いつか読むかもしれない、忘れないように買っておくのはよいことだというように書いてもいい。否定意見の方が書きやすいように思われるが、ケンがどちらの立場をとっても全体的な矛盾は生じないので、自分にとって書きやすい方を選べばよい。

**表現**

avid 「熱心な」

(佐藤寛司, 日笠航希)